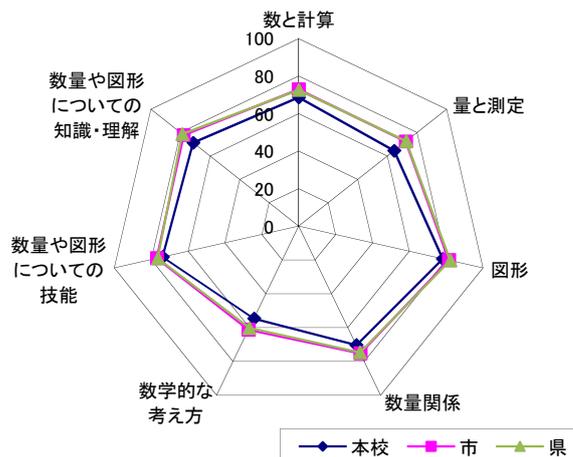


# 宇都宮市立清原東小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	68.7	72.9	72.6
	量と測定	64.6	72.4	72.6
	図形	78.1	81.4	82.1
	数量関係	70.3	75.2	74.6
観点	数学的な考え方	54.6	61.3	60.2
	数量や図形についての技能	73.8	77.0	76.5
	数量や図形についての知識・理解	71.4	77.8	78.8



## ★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>○3位数×2位数＝4位数の計算や、2位数÷1位数＝1位数（余りあり）の計算、同分母の真分数－真分数＝真分数の計算の正答率は県平均よりも高い。</li> <li>●整数－1 / 10の位までの小数の計算の正答率は県平均よりも低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算の定着が図れるよう、朝の学習や宿題などを通して反復練習に力を入れる。</li> <li>・文章題については、求めるものは何か、どのような計算になるかなど、題意の読み取りを丁寧に行うよう授業改善を行う。</li> </ul>
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>○ある時刻から一定時間後の時刻を求める問題の正答率は県平均より高い。</li> <li>●長さのkmとmの単位の関係を理解したり、はかりに示された重さを読み取ったり、身近にあるものの重さを推察したりする問題の正答率は県平均より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長さ、重さの単位を整理しながら復習し、練習問題に取り組みさせて定着を図る。</li> <li>・学習した単位については、実際にはかりなどの道具を使って測定するなど、体験的・作業的な活動を充実させ、実感を伴って理解できるようにする。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>○二等辺三角形の作図の正答率は県平均より高い。</li> <li>●円の直径についての理解や、正三角形の定義の理解を問う問題の正答率は県平均より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円や球について、図形の基礎的事項の理解（円や球の直径や半径）の復習をし、練習問題に取り組みさせて定着を図る。</li> <li>・図形の特徴について、言葉で表現したりまとめたりする学習活動において、ノート指導を丁寧に行う。</li> </ul>
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>○文章問題を解くために除法の式を立式し、その式から正しい答えを求める問題の正答率は県平均より高い。</li> <li>●口を使った情報の式に合った文章問題を選んだり、わり算の文章問題を表した図を理解したりする問題の正答率は県平均より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題から立式する際、分からない部分を口置き換えて立式する練習を多く設け、口を使った式に慣れさせ、定着を図る。</li> <li>・文章問題の内容を数直線や図に表す活動を授業中に多く取り入れ、数直線や図をヒントとして式に表す練習を継続的に行っていく。</li> </ul>